

## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月2日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド

コード番号 5331 URL https://www.noritake.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤 博

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 水口 宗成

TEL 052-561-7116

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	103,935	10.7	6,956	3.8	9,785	6.4	8,585	21.9
2022年3月期第3四半期	93,887	21.5	6,698	—	9,200	395.2	7,045	546.6

(注) 包括利益 2023年3月期 第3四半期 9,424百万円 (57.8%) 2022年3月期 第3四半期 5,971百万円 (5.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	594.83	—
2022年3月期第3四半期	488.13	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	180,631	126,152	69.4	8,689.13
2022年3月期	163,562	118,800	72.2	8,183.66

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 125,410百万円 2022年3月期 118,120百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	70.00	—	80.00	150.00
2023年3月期	—	90.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,000	11.2	9,000	△3.8	12,500	△0.1	10,000	10.3	692.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期 3Q	14,842,849株	2022年3月期	14,842,849株
2023年3月期 3Q	409,825株	2022年3月期	409,107株
2023年3月期 3Q	14,433,441株	2022年3月期 3Q	14,434,196株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2023年3月期の連結業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他関連する事項につきましては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,039億35百万円（前年同期比10.7%増加）、営業利益は69億56百万円（前年同期比3.8%増加）、経常利益は97億85百万円（前年同期比6.4%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は85億85百万円（前年同期比21.9%増加）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

#### (工業機材)

国内では、主要顧客である自動車業界の減産が長期化し、その影響が鉄鋼、ベアリング業界にも広がったことから、売上げは減少しました。海外では、北米は自動車関連向けの拡販により増加し、中国はベアリング向けが堅調に推移しました。東南アジアでは、顧客の生産が減少した影響を受けましたが、海外全体では売上げは増加しました。オフセット砥石などの汎用砥石は、国内・海外ともに前年並みとなりました。研磨布紙は、概ね横ばいで推移しました。その結果、工業機材事業の売上高は、439億88百万円（前年同期比3.2%増加）、営業利益は21億14百万円（前年同期比4.5%減少）となりました。

#### (セラミック・マテリアル)

電子ペーストは、顧客の在庫調整の影響を受け、売上げは大きく減少しました。電子部品材料は、自動車向けは堅調に推移したものの通信分野向けが低迷し、売上げは減少しました。厚膜回路基板は、センサー用が堅調に推移したことに加え、一部製品の価格改定等により、売上げは増加しました。石膏はアフリカ向けが減速し前年並みに留まりました。セラミックコアは需要が回復傾向にあることから、売上げは増加しました。蛍光表示管は、コロナ禍からの需要回復と為替の影響により、売上げは増加しました。セラミック原料は耐熱ガラス及び強化ガラス用が大きく増加しました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は、376億83百万円（前年同期比23.1%増加）、営業利益は38億37百万円（前年同期比8.2%減少）となりました。

#### (エンジニアリング)

主力の乾燥炉及び焼成炉は、リチウムイオン電池及び電子部品分野が堅調に推移したことにより、売上げは増加しました。混合攪拌装置は、主要分野の食品向けは低調でしたが、新分野である環境・半導体向けが補い、売上げは増加しました。濾過装置は、前年の設備投資抑制が影響し、国内が大きく減少しました。超硬丸鋸切断機は、自動車部品向けが低調で、売上げは減少しました。ロードカッターは前年並みとなりました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は、170億21百万円（前年同期比3.7%増加）、営業利益は11億55百万円（前年同期比7.3%減少）となりました。

#### (食器)

国内は、未だコロナ禍の影響が残るものの、ホテル・エアライン向けの受注が回復傾向にあることに加え、直営店とオンラインの販売が増加したことから、売上げは増加しました。海外は、米国では主要顧客の在庫調整の影響を受け低迷しましたが、アジア地域において中国・インド向けの販売が伸長したことに加え、為替の影響もあり、海外全体では売上げは増加しました。その結果、食器事業の売上高は、52億41百万円（前年同期比24.0%増加）、1億50百万円の営業損失となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金、商品及び製品並びに仕掛品が増加したことから、前連結会計年度末に比べ170億69百万円増加し、1,806億31百万円となりました。

負債は、電子記録債務及び短期借入金が増加したことから、前連結会計年度末に比べ97億16百万円増加し、544億79百万円となりました。

純資産は、利益剰余金及び為替換算調整勘定が増加したことから、前連結会計年度末に比べ73億52百万円増加し、1,261億52百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想は、2022年11月8日発表の見通しを修正しておりません。業績予想に修正が必要となった場合には速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,169	13,621
受取手形及び売掛金	29,014	37,752
電子記録債権	4,613	5,504
商品及び製品	10,082	12,795
仕掛品	6,671	9,061
原材料及び貯蔵品	6,456	8,070
その他	2,781	3,409
貸倒引当金	△129	△115
流動資産合計	73,660	90,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,328	17,859
その他（純額）	26,588	27,143
有形固定資産合計	44,917	45,003
無形固定資産	1,588	1,887
投資その他の資産		
投資有価証券	38,330	38,610
退職給付に係る資産	3,825	3,768
その他	1,356	1,442
貸倒引当金	△116	△180
投資その他の資産合計	43,396	43,640
固定資産合計	89,902	90,530
資産合計	163,562	180,631

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,039	9,130
電子記録債務	8,752	13,910
短期借入金	5,600	12,557
1年内返済予定の長期借入金	900	900
未払法人税等	1,991	709
引当金	1,641	495
設備関係支払手形	91	253
営業外電子記録債務	580	1,293
その他	5,634	5,931
流動負債合計	35,234	45,182
固定負債		
引当金	682	744
退職給付に係る負債	1,559	1,465
その他	7,285	7,087
固定負債合計	9,527	9,296
負債合計	44,762	54,479
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,502	18,593
利益剰余金	71,983	78,497
自己株式	△1,161	△1,255
株主資本合計	104,957	111,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,647	13,148
為替換算調整勘定	△2,502	△936
退職給付に係る調整累計額	2,018	1,730
その他の包括利益累計額合計	13,163	13,942
非支配株主持分	679	741
純資産合計	118,800	126,152
負債純資産合計	163,562	180,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	93,887	103,935
売上原価	68,050	77,279
売上総利益	25,836	26,656
販売費及び一般管理費		
販売費	12,625	12,805
一般管理費	6,512	6,894
販売費及び一般管理費合計	19,137	19,699
営業利益	6,698	6,956
営業外収益		
受取利息	29	94
受取配当金	778	1,040
受取賃貸料	360	383
為替差益	347	184
持分法による投資利益	972	1,099
その他	191	201
営業外収益合計	2,680	3,002
営業外費用		
支払利息	18	19
固定資産賃貸費用	119	98
その他	40	55
営業外費用合計	178	173
経常利益	9,200	9,785
特別利益		
固定資産売却益	0	223
投資有価証券売却益	3	626
特別利益合計	4	849
特別損失		
固定資産処分損	285	260
地中埋設物処理費用	285	—
その他	8	0
特別損失合計	579	261
税金等調整前四半期純利益	8,625	10,373
法人税、住民税及び事業税	1,688	1,719
法人税等調整額	△124	54
法人税等合計	1,564	1,773
四半期純利益	7,061	8,600
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,045	8,585

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	7,061	8,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,544	△498
為替換算調整勘定	643	1,577
退職給付に係る調整額	△175	△287
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	32
その他の包括利益合計	△1,089	824
四半期包括利益	5,971	9,424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,923	9,364
非支配株主に係る四半期包括利益	48	60



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が12月31日の海外子会社 (Noritake Co., Inc. 他11社) については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより適正な開示を図るため、第1四半期連結会計期間より、連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。

なお、当該海外子会社の2022年1月1日から2022年3月31日までの損益については、利益剰余金の増加424百万円として調整しております。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
顧客との契約から生じる収益	42,624	30,623	16,411	4,228	93,887
外部顧客への売上高	42,624	30,623	16,411	4,228	93,887
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	2,214	4,180	1,246	△942	6,698

(注) 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

建設・土木業向け産業機械、ダイヤモンド工具を販売する連結子会社の日本フレキ産業株式会社は、産業機械の販売比率が高いことから経営管理区分を変更したことに伴い、第1四半期連結累計期間より、帰属する報告セグメントを工業機材からエンジニアリングに変更しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
顧客との契約から生じる収益	43,988	37,683	17,021	5,241	103,935
外部顧客への売上高	43,988	37,683	17,021	5,241	103,935
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	2,114	3,837	1,155	△150	6,956

(注) 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な事項はありません。